

## 静岡富士病院周辺の歴史散歩

静岡富士病院 院長・神経内科

溝口 功一



下馬桜（静岡富士病院 看護部長 太田郁子様 撮影）

私の勤務している静岡富士病院は、静岡県富士宮市上井出という地区にあります。標高は約500メートルで、朝霧高原の南端に位置しております。市街地からは10km以上離れており、現在は、住宅も商店もまばらに点在しているだけの地区です。

あるとき、認知症と考えられる旦那さんを連れてきた奥様に上井出付近の昔の様子をうかがいました。そのご夫婦の名字がこのあたりでは珍しかったため、ご出身をうかがったところ、お二人とも長野県のご出身で、終戦後、開拓民として、富士宮市に移住してこられたとのことでした。開拓民の方達は360戸あまりで、補助金で、「まるで小屋」（奥様の言葉）のような住居で、昭和21年から、生活を始められました。当初は、キャベツや大根など高冷地栽培の野菜作りに力を入れていました。その後、昭和20年代後半には、酪農経営を始める農家が増え、広い牧草地に乳牛を放ち、生活の糧としていかれたそうです。当院の近くの農協は「開拓農協」という名前で、当時の面影がわずかに偲べれます。

また、ご夫婦のお話では、当院の近くには、「上井出銀座」という商店街があり、映画全盛期の昭和20年代には、「上井出座」と呼ばれる映画館があったそうです。現在はその付近にコンビニエンスストアがあるだけで、当時の面影はありません。

これをきっかけとして、改めて、当院の周辺をみてみると、鎌倉時代と関連のある場所がみつかりました。

当院から1kmほど下った場所に「狩宿」と呼ばれる地域があります。源頼朝が鎌倉幕府をおこした後、建久4年（1933年）源氏一族や諸国武者を富士山裾野に参集させ、5月15日から6月7日まで、大規模な巻狩りを行いました。頼朝達が宿営した場所が現

在の狩宿地区です。頼朝の宿舎は五間の仮室だったと伝えられ、周囲には一族や腹心の部下達が同様に仮小屋を作り、宿営していたようです。宿営地の近くには、頼朝が馬をつないだとされる「駒止の桜」（「下馬桜」と呼ばれることが多い）もあります。今も、4月中旬には見事な桜の花をさかせています。そして、頼朝の巻狩りは富士宮浅間神社の「やぶさめ祭り」として、現在も伝えられています。

この巻き狩りの最中に起こった有名な事件があります。父親である河津祐泰を殺害した工藤祐経を曾我十郎と曾我五郎の兄弟が仇討ちをした「曾我兄弟の仇討ち」です。日本三大仇討ちとして有名で、後に、歌舞伎や浄瑠璃、能で取り上げられています。小学生の時、私も絵本でみたような記憶があります。この仇討ちと関連する場所としては、当院から白糸の滝（世界遺産の一つ）にむかう道の途中に、仇討ちされた工藤祐経の墓があります。また、曾我兄弟の死を悼んで、頼朝が設立したと言われる曾我八幡宮が、当院と同じ上井出地区にあります。

富士宮市街地から離れた上井出地区にこうした歴史があることは、わたしにとって、とても興味深い話でした。世界遺産の富士山をはじめ、周囲にはダイヤモンド富士の写真が撮れる田貫湖、また、名瀑白糸の滝などがあり、キャンプ場もいくつもあります。こうした観光とともに、歴史と関連ある場所を訪ねるのもおもしろいものです。もし、富士山を訪れる機会がありましたら、ぜひ、お立ち寄りください。

## 参考文献

目で見える富士宮の歴史（緑星社）遠藤秀男著・編集